

学習内容報告書 フォーマット

学校名	唐津市立東唐津小学校
授業者	浦田富美子、前田秀子

1. 単元計画

1-1. 単元名

大好き！東唐津

1-2. 学年

3・4年生

1-3. 教科

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

これまでの生活科などの学びや地域での生活経験をふり振り返りながら、ふるさと東唐津のよさ・おすすめを出し合う中で、「虹ノ松原や海についてもっと詳しく調べてみたい」という思いが高まった。そこで、今年度の総合的な学習の時間の中心を「虹ノ松原となかよし」「海となかよし」で進めることにした。

進め方としては、まず、学習素材に触れ、楽しむ活動をすることで、もっと知りたい、もっと調べてみたいという意欲を高めた後、自力での調べ学習を行う。解決できなかった課題やさらに詳しく調べてみたい等の児童の思いは、専門家との学習で深めていき、分かったことや気づいたことを壁新聞にまとめて、校内や連携したKANNE・南高に発信することにした。

そして、学習を進める中で高まっていった虹ノ松原や唐津の海を守りたいという児童の思いは、実際の清掃活動につなげたり、松ぼっくり曳山を作ってお世話になった地域の方々に贈り、みんなで東唐津の宝を守っていこうと発信をする活動につなげたりして、それらを単元のゴールとした。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

児童が、自分自身が生活する身近な地域のもの・こと・人とのつながりを実感したり、地域を誇りに思い大切にしようとする心情を持ったりすることが、社会と主体的に関わり、創造していこうとする意識の基盤となると考える。そこで、海や虹ノ松原と深くかかわってきた校区の地域素材・人材を積極的に活用した総合的な学習の時間の授業実践を行えば、児童が地域を誇りに思い、大切にしようとする意識を高めることができるであろう。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

(1) 身近な地域素材、虹ノ松原について、専門家の力を借りて知識を広げ、深めたい課題を設定する力。

【知識・技能】

(2) 体験したり調べたりして得た情報から、発信するのに必要な事柄を選び出したり、他者に分かりやすく伝えるための工夫をしたりする力。

【思考力・判断力・表現力】

(3) 身近な海や虹ノ松原に関心を持ち、進んで学習に取り組み、分かったことを発信しようとする力。

【学びに向かう力】

1-7. 単元の展開（全 45時間）

時 数	学習活動・主な内容	*教師の指導 / 主な評価 ☆外部連携 / 使用教材等
4	<p>○東唐津のいいところ・おすすめを紹介しよう。</p> <p>○発表を聞いて、自分でも調べてみよう。</p> <p>○みんなで一緒に学習することを決めよう。</p> <p>☆「虹ノ松原となかよし」</p> <p>☆「海となかよし」</p>	<p>*自分たちのこれまでの学習や体験から東唐津のよさ・おすすめを紹介し合い、本単元への興味・関心を高める。</p> <p>*最も身近な素材である「虹の松原」と「唐津の海」の2つに絞って学習を進めることを共有させる。</p>
6	<p>◇「虹の松原となかよし」</p> <p>「それゆけ！虹の松原調査隊～Ⅰ」</p> <p>○虹ノ松原を歩いてみよう。</p> <p>○お気に入りの松を見つけ、紹介しよう。</p> <p>○虹ノ松原の「ひみつ・ふしぎ」を調べよう。</p>	<p>*まず、学習素材に触れ、楽しむ活動をすることで、もっと知りたい、もっと調べてみたいという意欲を高める。</p> <p>*自分たちだけの力で調べるのは難しいことに気づかせ、専門家の力も借りることを提案する。</p>
11	<p>◇「虹の松原となかよし」</p> <p>「それゆけ！虹の松原調査隊～Ⅱ」</p> <p>○KANNE さんから話を聞いて、虹ノ松原の「ひみつ・ふしぎ」に詳しくなろう。</p> <p>○生き物調査に出かけよう。(植物)</p> <p>虹ノ松原内・東の浜</p> <p>○松葉かきをしよう。(守る活動)</p> <p>○調べたことを新聞にまとめよう。</p> <p>(グループごとに)</p>	<p>☆虹の松原の専門家…NPO 法人 KANNE 藤田さん</p> <p>*詳しく知りたいことを事前にメモして、専門家の話を聞かせる。</p> <p>*体験活動に取り組むことで、虹の松原や東の浜への愛着を高める。</p> <p>*調べたことや体験したことで、最も伝えたいことは何かを明確にさせて、グループ編成を行わせる。</p> <p>*完成した新聞を校内だけでなく、KANNE さんや南高にも掲示してもらうことで、達成感を味わわせる。</p>
10	<p>◇「海となかよし」</p> <p>○サンドアートを楽しもう。</p> <p>○ヨット・カヤック体験をしよう。</p> <p>○海に「ありがとう」を伝えよう。</p>	<p>*縦割り班で協力して作品を作るよう支援する。</p> <p>☆ヨット・カヤック体験講師…佐賀県ヨットハーバー 中地さん、佐々木さん</p> <p>*体験の振り返りを交流し、清掃活動へつなげる。</p>
10	<p>◇「虹の松原となかよし」</p> <p>「松ぼっくりを使って、虹ノ松原のよさを伝えよう。」</p> <p>○松ぼっくり拾いに出かけよう。</p> <p>○虹ノ松原川柳を作ろう。</p> <p>○曳山アマビエを作ろう。</p> <p>○松ぼっくりアマビエをプレゼントしよう。</p>	<p>☆曳山アマビエ作りの講師</p> <p>…県立唐津南高等学校 虹ノ松原研究班のみなさん</p> <p>☆虹の松原コンテストへの参加…川柳 他</p> <p>*南高生から学んだ曳山アマビエを自分たちでもたくさん作り、今年お世話になった方々に渡すことで、これからもみんなで虹の松原を守っていこうという意欲を高める。</p>
4	<p>◇「野鳥観察」と「1年間のまとめ」</p> <p>○野鳥観察をするための準備学習をしよう。</p> <p>○野鳥観察に出かけよう。</p> <p>(学校周辺…松浦川、虹ノ松原、東の浜)</p> <p>○1年間の活動の振り返りをしよう。</p>	<p>☆野鳥観察の専門家…岩崎一男さん</p> <p>*学校周辺の海・川・虹の松原などの豊かな自然は、野鳥にとっても大切なものであることに気づかせ、これからも地域の自然を大切にしていこうという意欲を高める。</p>

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 4 5 時間中の 43・44 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- 野鳥観察の仕方について理解し、観察することができる。
- 学校周辺の海・川・虹の松原などの豊かな自然は、野鳥にとっても重要なものであることに気付き、これからも身近な自然を大切にしようという意欲を高める。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1. 本時のめあてを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> 学校周辺にはどんな野鳥がいるのか、しっかり観察しよう。 </div> <p>2. 野鳥観察に出かける準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全面 ・双眼鏡の使い方 <p>3. 野鳥の観察をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松浦橋 ・東町（ホテルリベール下） ・東の浜 ・虹ノ松原 <p>4. 観察できた野鳥について交流する。</p> <p>5. ふり返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○全員のマスク着用と防寒の服装を確かめる。 ○講師の先生の話をしっかり聞いて、指示に従うことを確認する。 ○双眼鏡の使い方（目の間隔に合わせる。ピントの合わせ方）を確認する。 ○驚かしたり大声をあげたりすることはマナー違反。マナーを守って観察することを押さえる。 ○講師の先生の話聞いて知った野鳥の特徴をメモさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・野鳥の名前 ・色や姿 ・鳴き声 ・飛び方 ○観察できた野鳥を「野鳥マップ」に丸で囲ませる。 ○鳥合わせシートに、今回観察できた野鳥の名前を記入させる。 ○観察して知ったことや気づいたこと等の感想を数名に発表させる。（虹ノ松原内にて） ○帰校後、一人一人に感想を書かせ、交流させる。 ○本時の感想とともに、これまでの学習をふり返り、これからの自分の関わり方についても考えて書くよう促す。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">【学びに向かう力】</p> <p>B マナーを守って野鳥観察をし、分かったことや気づいたことを自分なりに表現している。（観察、ワークシート、ふり返りシート）</p> </div>

3. 今回の活動の自己評価

- ・コロナ禍の実践で、配慮すべきことは多かったが、児童の発達段階に即し、体験活動を大事にして学習を深めていくことができた。
- ・海や虹ノ松原と深く関わってきた方々との連携を密にできたことで、学習が広がったり深まったりした。そのおかげで、児童は地域のよさをより一層感じ、これからも大切にしていきたい、そのために今自分ができることをやっという保全活動への意欲が高まった。
- ・「もっと知りたい」「もう少し詳しく調べてみたい」等、児童の意欲的に学ぶ姿を見ることができた。

4. 今後の課題

- ・令和4年度もコロナ対応をしながらの学習になることが予想される。時期の変更や体験活動内容の変更は必要になってくるだろうが、児童の発達段階を考えると、「楽しむ」「親しむ」といった体験活動の中からの気づきをもとにした単元づくりをしていきたい。
- ・低学年の生活科、高学年の総合的な学習の時間とどのようにつなげて学習を深めていくのか、6年間を見通した地域素材学習の進め方を明らかにしていきたい。
- ・南高生との交流を今後も進め、キャリア教育にもつなげていきたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・特になし

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。